

# 2020年度決算

株式会社フジクラ

2021年5月14日

# 目次

1. 2020年度実績及び2021年度予想
2. セグメント情報
3. 株主還元

# 1. 2020年度実績及び2021年度予想

# 2020年度実績と公表値との差異

(単位:億円)

	2020年度 (公表値2.8)	2020年度	2020年度－ 公表値増減
売上高	6,300	6,437	137
営業利益	150	244	94
営業利益率 (%)	2.4	3.8	1.4
持分法投資損益	▲3	4	7
経常利益	85	184	99
親会社株主に帰属する 当期純利益又は純損失(▲)	▲100	▲54	46
1株当たり当期純利益 又は純損失(▲)(円)	▲36.31	▲19.50	16.81
1株当たり配当 (円)	0.00	0.00	—
自己資本利益率(ROE) (%)	▲6.4	▲3.4	3.0
為替換算レート (USD/JPY)	105.85	106.11	—
銅ベース (千円/トン)	—	770	—

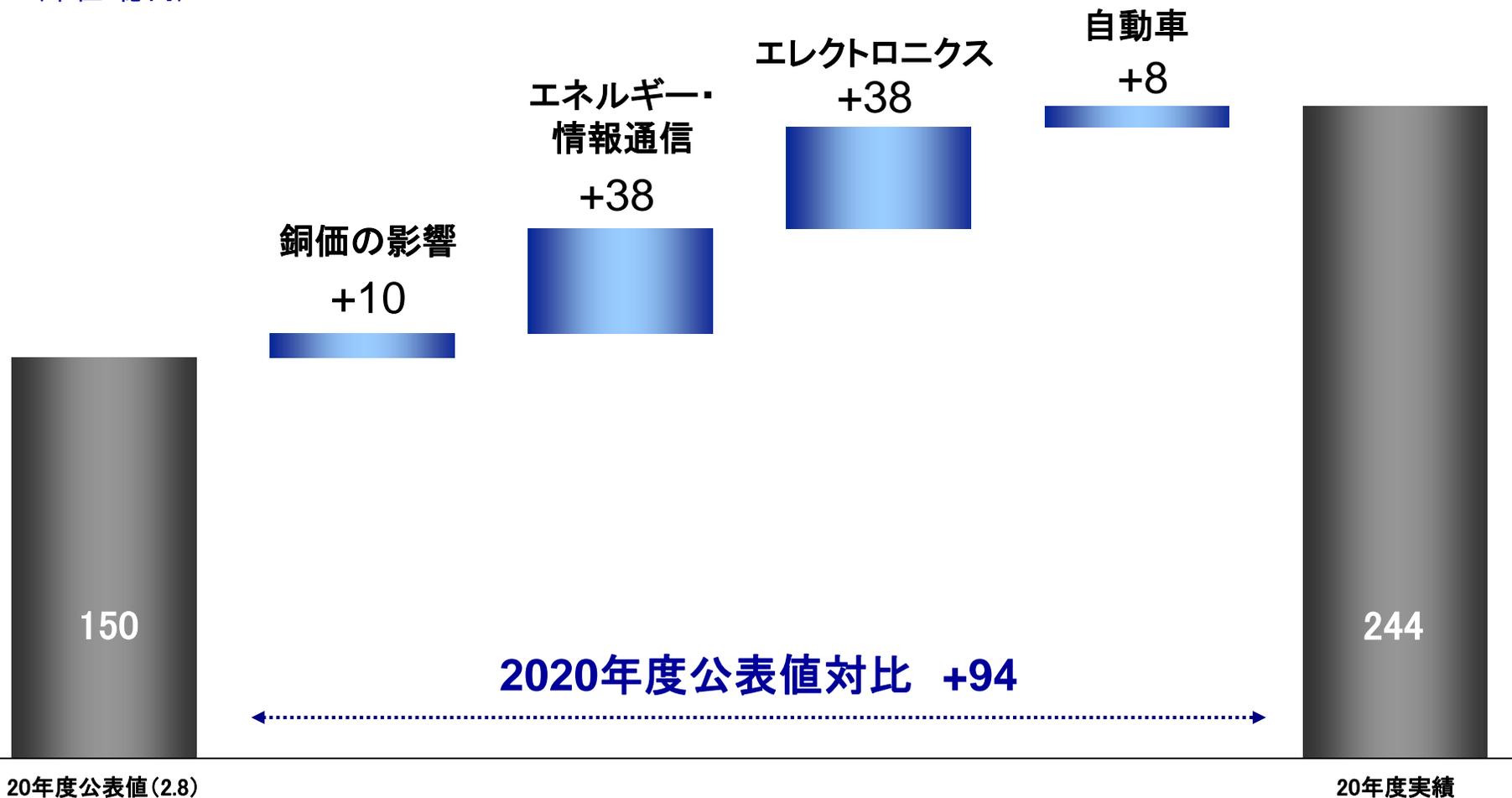
# 2020年度実績と公表値との差異について

- エネルギー・情報通信カンパニーの情報通信事業部門において、各国のデータセンタ、F T T xに対応した需要が高いことや銅価格の上昇並びにエレクトロニクス事業部門においてスマートフォン向けの需要が想定を上回ったこと及び生産性を改善したこと等により営業利益及び経常利益は前回発表予想と比較し増収増益となった。
- 一方、親会社株主に帰属する当期純損益はF P C事業の固定資産の減損損失の計上はあるものの、営業利益、経常利益が前回予想を上回ること等により損失が縮小した。

# 2020年度営業利益の増減要因(公表値比)

## 営業利益

(単位:億円)



# 2020年度実績(前期比)

(単位:億円)

	2019年度	2020年度	2020年度 -2019年度 増減
売上高	6,723	6,437	▲286
営業利益	33	244	211
営業利益率(%)	0.5	3.8	3.3
持分法投資損益	11	4	▲7
経常利益	13	184	171
親会社株主に帰属する 当期純利益又は純損失(▲)	▲385	▲54	331
1株当たり当期純利益 又は純損失(▲)(円)	▲136.58	▲19.50	117.09
1株当たり配当(円)	5.00	0.00	▲5.00
自己資本利益率(ROE)(%)	▲20.9	▲3.4	17.5
為替換算レート(USD/JPY)	108.72	106.11	—
銅ベース(千円/トン)	682	770	—

■ **新型コロナウイルス感染症(C O V I D - 1 9)の影響により、自動車メーカーが生産を停止したこと及び国内電線市場の需要減少等により減収となった。**

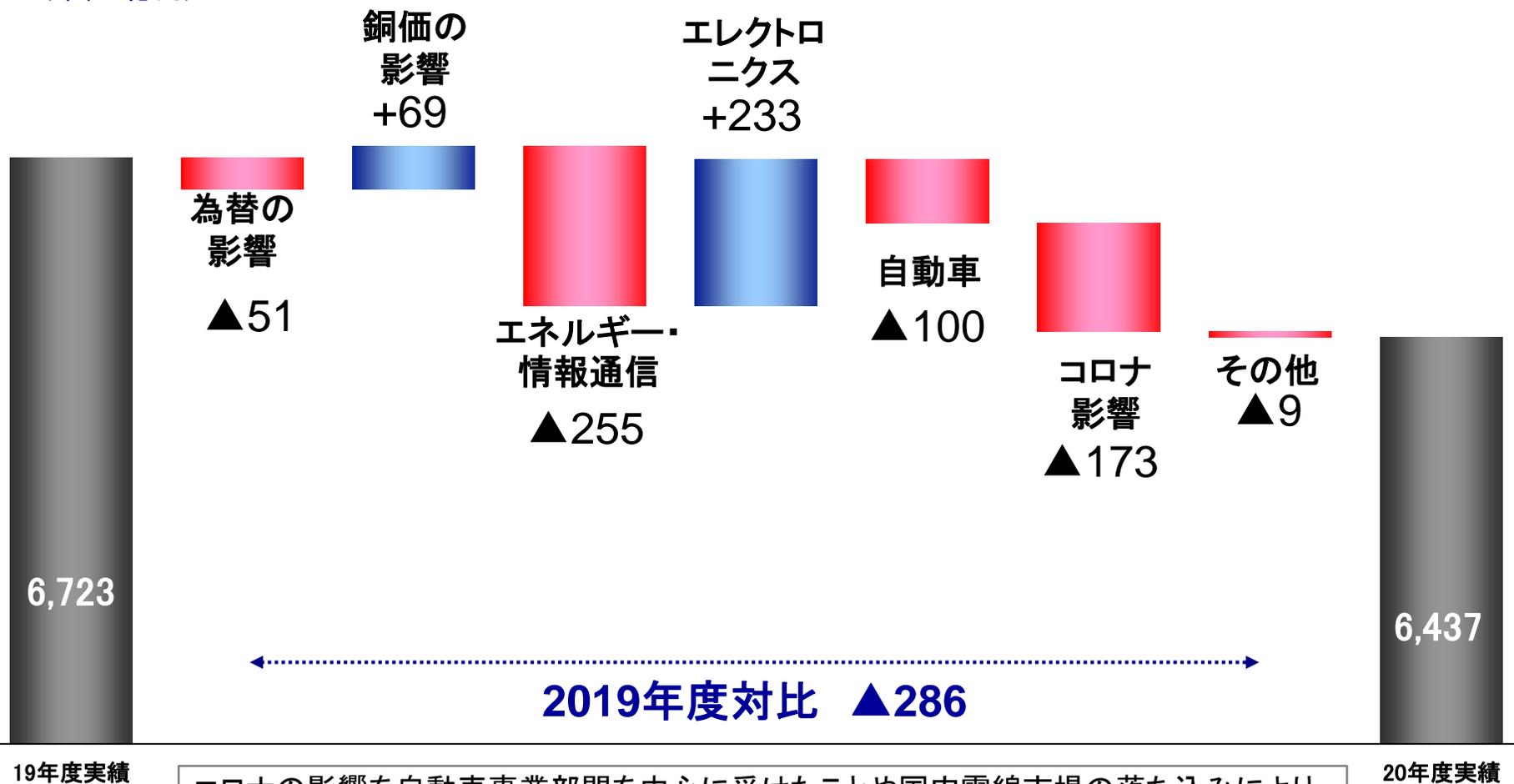
■ **一方、利益面においては事業構造改善効果や費用削減の諸施策、銅価上昇による評価差益に加え、エネルギー・情報通信カンパニーでは各国のデータセンタ、F T T xに対応した需要が高いこと、エレクトロニクス事業部門では、スマートフォン向け需要増加及びデジタル機器の巣ごもり需要などにより営業利益及び経常利益は増益となった。**

■ **親会社株主に帰属する当期純損益は、F P C事業において固定資産の減損損失等を計上したことにより当期純損失となった。**

# 2020年度 売上高の増減要因(前期比)

## 売上高

(単位:億円)

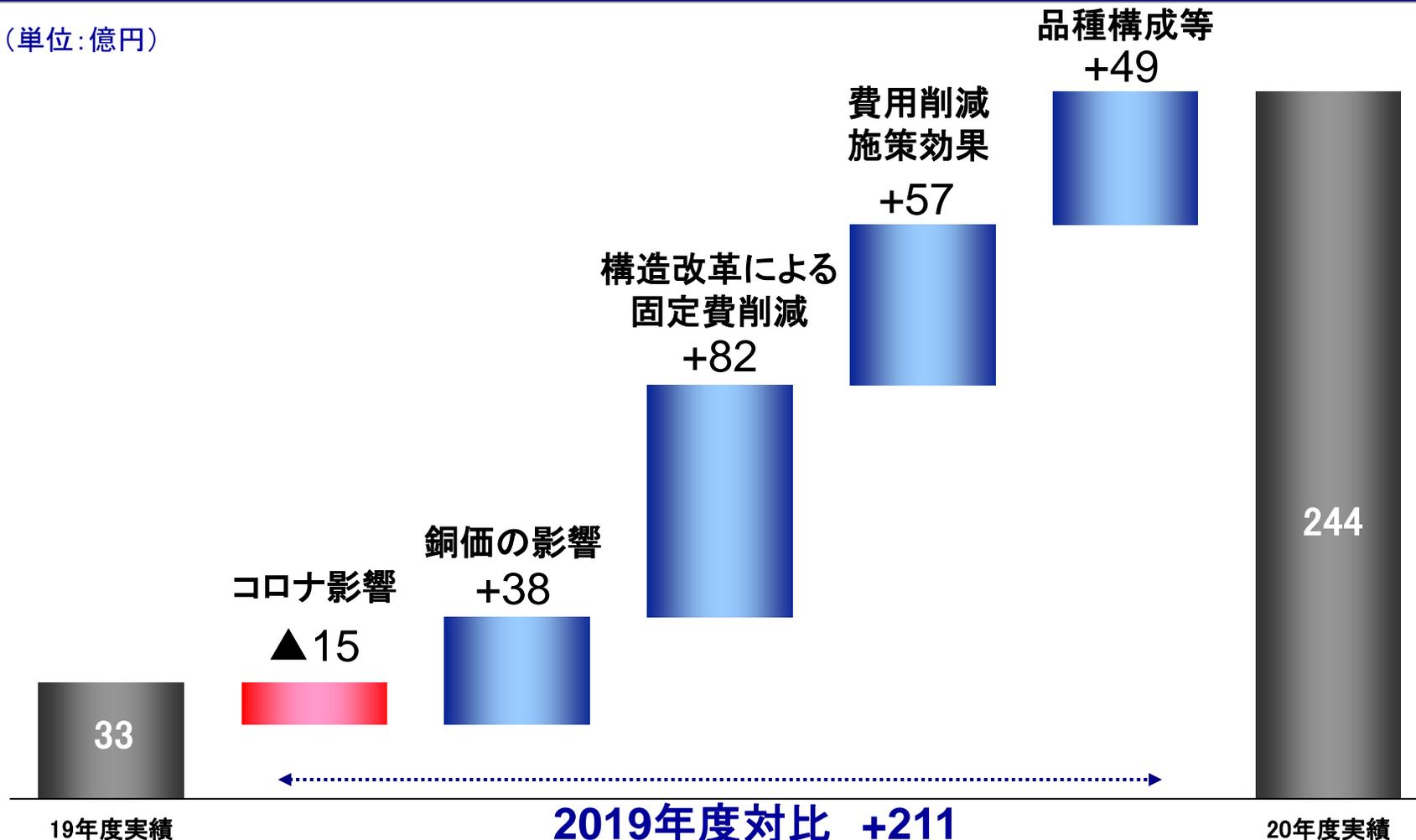


コロナの影響を自動車事業部門を中心に受けたことや国内電線市場の落ち込みにより、前期比減収。

# 2020年度 営業利益の増減要因(前期比)

## 営業利益

(単位:億円)



コロナの影響があったものの、構造改革及び費用削減の諸施策等により大幅な増加。  
品種構成等+49は、主にコネクタ及び電子部品の増収による増益。

# 2020年度 特別損益及び税金項目

## 特別損益

(単位: 億円)

	2019年度	2020年度
営業利益	33	244
持分法投資損益	11	4
経常利益	13	184
特別利益	97	68
特別損失	307	240
税引前当期純利益	▲198	12
税金費用	173	53
非支配株主に帰属する 当期純利益	14	12
親会社株主に帰属する 当期純利益又は純損失(▲)	▲385	▲54

### 特別損益計 ▲172億円

- ・FPC固定資産の減損損失 ▲153億円
- ・事業構造改善費用 ▲36億円
- ・新型コロナウイルスによる  
休転期間中の工場固定費 ▲20億円
- ・資産売却益 60億円 等

### 2019年度 (税金費用)

- ・繰延税金資産の取り崩し ▲103億円

# B/S 主要項目(1)

(単位:億円)

	20年3月末	21年3月末	増減
〈資産〉	5,761	5,691	▲70
流動資産	2,998	3,174	176
現金及び預金	447	747	301
受取手形及び売掛金	1,289	1,233	▲56
たな卸資産	1,037	1,005	▲32
固定資産	2,763	2,517	▲246
有形固定資産	2,106	1,840	▲266
無形固定資産	157	143	▲14
小計	2,263	1,983	▲280
投資その他の資産	500	534	34

新型コロナウイルス感染症対応による手元流動性の確保

設備投資 177億円  
減価償却費 ▲336億円  
減損損失 ▲168億円

## B/S 主要項目(2)

(単位:億円)

	20年3月末	21年3月末	増減
負債純資産合計	5,761	5,691	▲70
(内数 自己株式)	(▲109)	(▲109)	(1)
〈負債〉	4,040	3,846	▲193
支払手形及び買掛金	658	685	27
有利子負債	2,607	2,419	▲187
その他負債	775	742	▲33
〈純資産〉	1,721	1,845	124
株主資本	1,599	1,575	▲25
(内数 自己株式)	(▲109)	(▲109)	(1)
その他の包括利益累計額	▲79	54	132
非支配株主持分	200	217	16
自己資本比率(%)	26.4	28.6	2.2

主に運転及び設備資金の減少によるもの。  
NET D/E Ratioは改善されている。  
(59:41→51:49)  
Net Debt 2,160⇒1,672 ▲488

為替換算調整勘定  
101億円

# 設備投資及び減価償却費

(単位:億円)

	2019年度	2020年度	2021年度 予想
設備投資	301	177	180
(内製造事業)	288	170	170
(内不動産事業)	14	7	10
減価償却費	357	336	300
(内製造事業)	337	316	280
(内不動産事業)	20	20	20

# 有利子負債、金融収支、フリーキャッシュフロー

(単位:億円)

	2019年度			2020年度		
	上期	下期	年度	上期	下期	年度
有利子負債	2,736	2,607	2,607	2,700	2,419	2,419
現金及び預金	369	447	447	669	747	747
純有利子負債	2,368	2,160	2,160	2,031	1,672	1,672
金融収支	▲10	▲9	▲19	▲8	▲6	▲14
フリーキャッシュフロー	▲183	290	107	163	418	581

フリーキャッシュフロー＝営業活動によるキャッシュフロー＋支払利息＋投資活動によるキャッシュフロー

# 2021年度予想

(単位:億円)

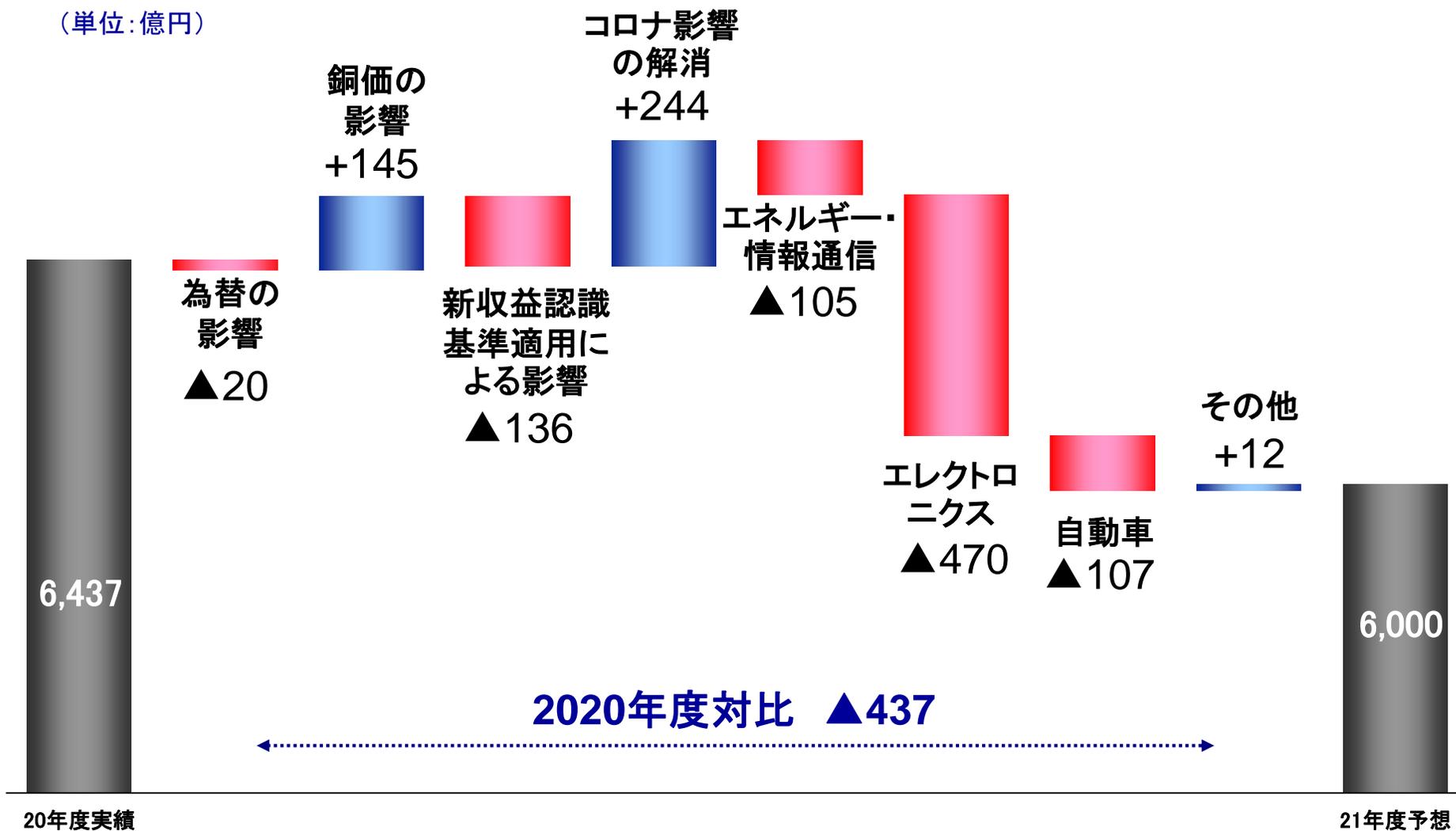
	2020年度 実績	2021年度 上期予想	2021年度 予想	2021年度予想 －2020年度実績 増減
売上高	6,437	2,990	6,000	▲437
営業利益	244	70	200	▲44
営業利益率 (%)	3.8	2.4	3.3	▲0.5
持分法投資損益	4	0	8	4
経常利益	184	50	165	▲19
親会社株主に帰属する 当期純利益又は純損失(▲)	▲54	15	65	119
1株当たり当期純利益(円)	▲19.50	5.45	23.60	43.10
1株当たり配当(円)	0.00	未定	未定	—
自己資本利益率(ROE)(%)	▲3.4	—	3.9	7.3
為替換算レート(USD/JPY)	106.11	105.00	105.00	—
銅ベース(千円/トン)	770	920	920	—

- 売上高は、主にスマートフォン需要の減少、及び採算重視の受注戦略によりエレクトロニクス事業の減収を見込む。
- 営業利益は、エレクトロニクス事業の減収や銅価の影響により減益を見込む。
- 親会社株主に帰属する当期純利益は、特別損失の減少により改善を見込む。

# 2020年度実績/2021年度予想 売上高の増減要因

## 売上高

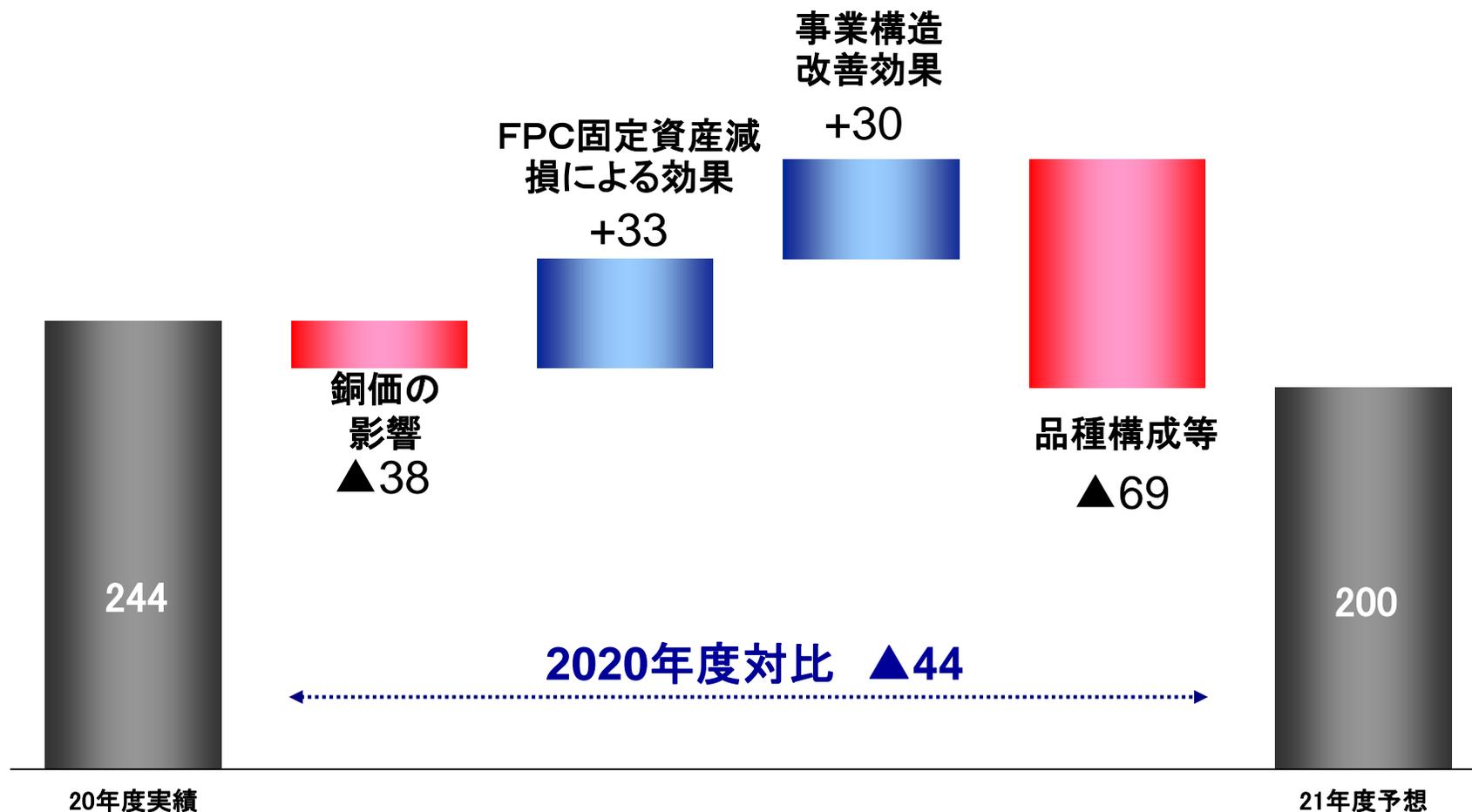
(単位:億円)



# 2020年度実績/2021年度予想 営業利益の増減要因

## 営業利益

(単位: 億円)



品種構成等▲69は、主にFPCの減収による減益及びコネクタ、電子部品の巣ごもり需要の反動による減益

# 減損による償却費の減少と事業構造改善効果

(単位:億円)

セグメント	累積効果額	2020年度		2021年度	
		実績	項目	見込み	追加項目
エネルギー・ 情報通信事業部門	32	32	【減損】 ・光ファイバ製造設備 (22億円) ・ファイバレーザ製造設備 (6億円)		
エレクトロニクス 事業部門	46	6		40	【減損】 ・FPC固定資産の減損(33億円) 【事業構造改善費用】 ・国内、アジアの人件費削減(7億円)
自動車事業部門	51	40	【減損】 ・欧州ワイヤハーネス製造設備他 (15億円) 【事業構造改善費用】 ・欧州、アジア、北南米の人件費削減 (25億円)	11	【事業構造改善費用】 ・北米の人件費削減と東欧の事業 規模縮小
電子電装・コネクタ 事業部門	97	46		51	
その他	16	4	【事業構造改善費用】 ・本社他人件費削減 (4億円)	12	【事業構造改善費用】 ・本社他人件費削減
合計	145	82		63	

## 2. セグメント情報

# セグメント別業績推移及び予想

(単位:億円)

## 売上高

セグメント	19年度 実績	20年度 実績	21年度 上期予想	21年度 予想
エネルギー・ 情報通信事業部門	3,278	3,059	1,473	2,974
エレクトロニクス 事業部門	1,783	1,999	794	1,529
自動車 事業部門	1,493	1,219	639	1,324
電子電装・コネクタ 事業部門	3,276	3,218	1,434	2,853
不動産 事業部門	113	109	54	108
その他	56	52	29	63
合計	6,723	6,437	2,990	6,000

## 営業利益及び営業利益率

19年度 実績	20年度 実績	21年度 上期予想	21年度 予想
46 1.4%	181 5.9%	59 4.0%	132 4.4%
▲20 ▲1.1%	49 2.4%	▲1 ▲0.1%	16 1.1%
▲41 ▲2.8%	▲37 ▲3.0%	▲14 ▲2.1%	▲1 ▲0.0%
▲61 ▲1.9%	12 0.4%	▲15 ▲1.0%	15 0.5%
54 47.7%	52 47.7%	24 44.6%	46 42.9%
▲5	▲0	1	5
33 0.5%	244 3.8%	70 2.3%	200 3.3%

※一部事業の管理体制の見直しに伴い、19年度の数字を組替再表示しております。

2021年度より管理体制を見直したため、セグメント名称を変更しておりますが、2019年度、2020年度の数値に変更はありません。

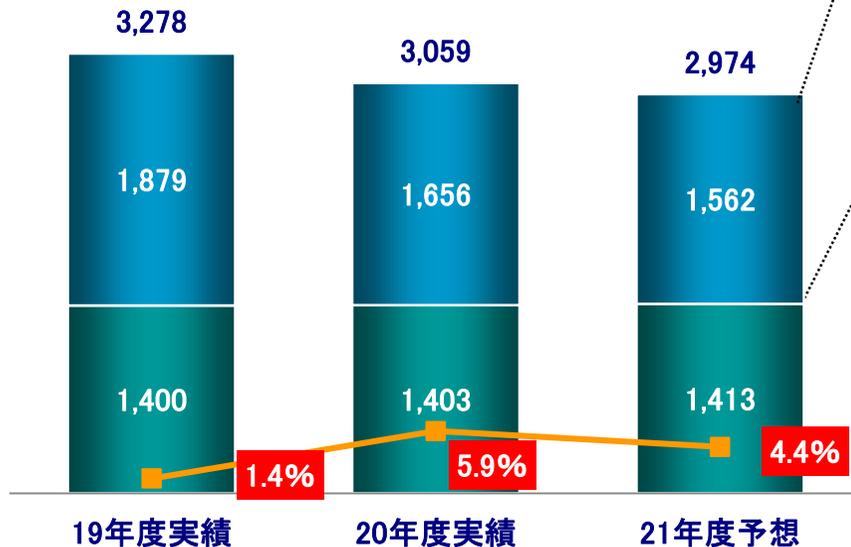
# エネルギー・情報通信事業部門

- 20年度実績は、国内電線市場の需要減少、光ファイバの競争激化などにより減収となったものの、データセンタ、F T T xに対応した需要が高いことや構造改革による固定費削減、銅価上昇による評価差益の計上等により増益。
- 21年度、エネルギーは前期に引き続き、国内電線市場の需要減少や銅価の影響で減収減益、情報通信はほぼ前年度並みを見込む。

(単位: 億円)

## 売上高と営業利益率

- エネルギー
- 情報通信
- 営業利益率



## エネルギー

- 20年度は、国内電線市場の需要減少などにより減収。
- 21年度も引き続き国内電線市場の需要減少などにより減収を見込む。

## 情報通信

- 20年度は、中国の光ファイバは、競争激化等により減収となったものの、データセンタ、F T T xに対応した高需要が牽引し、前年度並みとなった。
- 21年度は、ほぼ前年度並みとなる見込み。

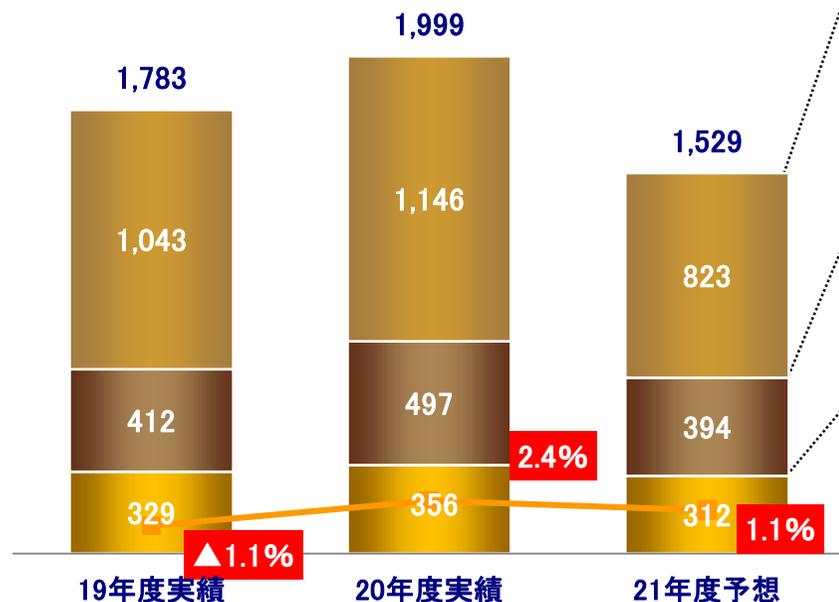
# エレクトロニクス事業部門

- 20年度は、スマートフォン向け需要増加、デジタル機器向けの巣ごもり需要等を取り込み増収増益。
- 21年度は、スマートフォン需要の減少と採算重視の受注戦略並びに巣ごもり需要の反動により減収減益を見込む。

(単位: 億円)

## 売上高と営業利益率

- FPC
- コネクタ
- その他
- 営業利益率



### FPC

- 20年度は、スマートフォン向け需要増により増収。
- 21年度は、スマートフォン需要の頭打ちに伴う競争環境の激化、及び品種構成の悪化により減収。

### コネクタ

- 20年度は、スマートフォン向け需要増、巣ごもり需要により増収。
- 21年度は、スマートフォン需要の落ち込みと、前期の巣ごもり需要の反動により減収。

### その他

- 20年度は、巣ごもり需要により増収。
- 21年度は、前期の巣ごもり需要の反動により減収。

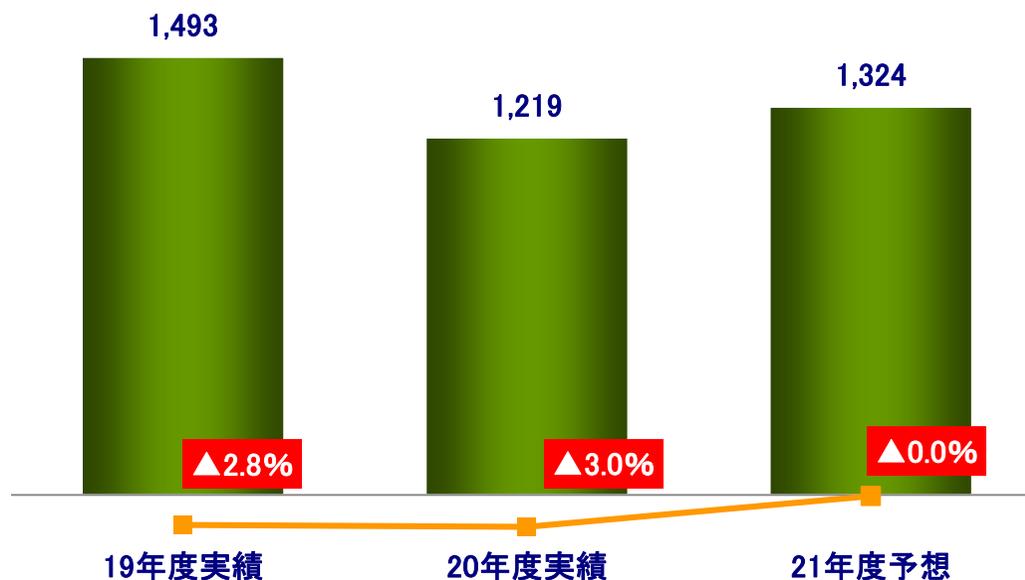
# 自動車事業部門

- 20年度は、新型コロナウイルス感染症によるロックダウンが世界各国であり、顧客の生産停止にまでおよんだ結果、前期比で大幅な減収となったが、生産性改善により下期は営業利益ゼロベースまで改善。
- 21年度は、コロナの影響は概ね解消したが、銅価格や新興国通貨安等により営業利益は若干のマイナスを見込む。

(単位: 億円)

## 売上高と営業利益率

— 営業利益率



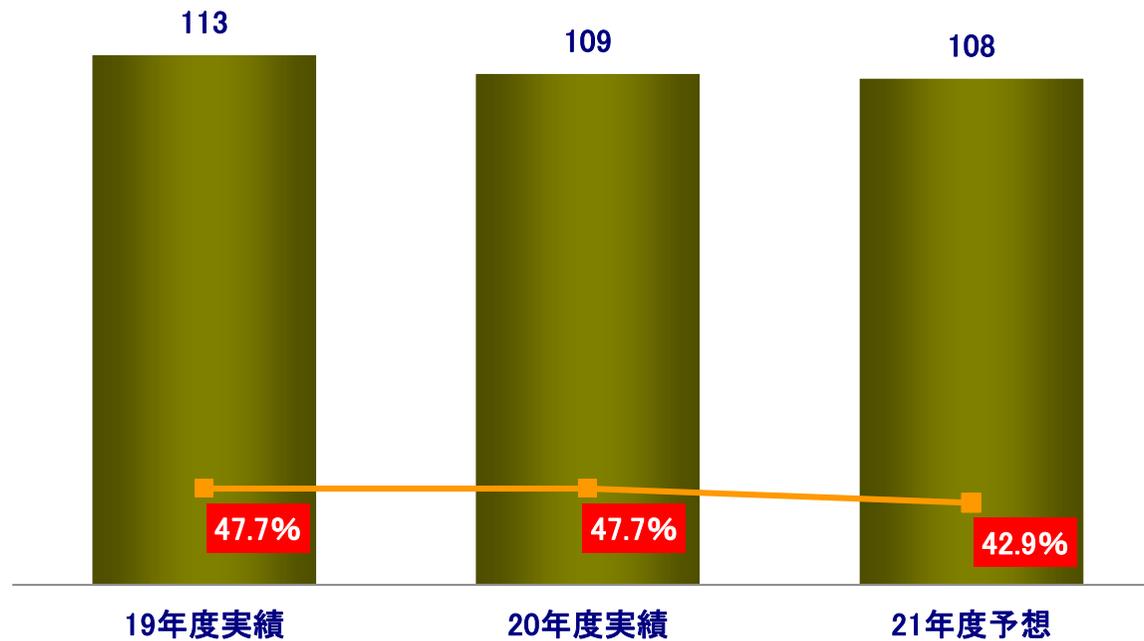
# 不動産事業部門

■ 不動産賃貸収入が引き続き収益に貢献。

(単位:億円)

## 売上高と営業利益率

— 営業利益率



### 3. 株主還元

# 株主還元

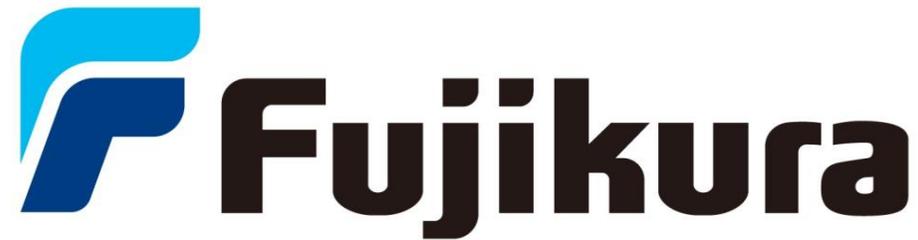
---

## ■ 2020年度配当について

連結業績や経営環境等を踏まえ、誠に遺憾ながら無配とさせていただきます。

## ■ 2021年度配当について

早期復配を実現すべく引き続き事業構造改革に取り組むため、現時点では未定とさせていただきます。



注記: 本資料は21年度におけるフジクラの経営方針(意思)をまとめています。21年度の売上・利益等については、直近状況を織り込んだ市場判断、投資に関するフジクラの意思を定量化していますが、将来時点で事業環境の変化等により変わることがあります。

【2020年度 補足資料】

事業セグメント別 売上高・営業利益 推移

事業セグメント別 売上高 推移

単位: 億円

	2019年度							2020年度							2021年度 予想 (FY2021 Est.)		
	1Q	2Q	3Q	4Q	上期	下期	年度	1Q	2Q	3Q	4Q	上期	下期	年度	上期	下期	年度 予想
エネルギーシステム事業部	481	470	482	445	951	927	1,879	387	394	423	453	781	875	1,656	771	791	1,562
情報通信事業部門	360	363	337	339	723	676	1,400	318	373	361	351	691	712	1,403	702	711	1,413
エネルギー・情報通信事業部門	841	834	819	784	1,674	1,604	3,278	705	767	783	804	1,472	1,587	3,059	1,473	1,502	2,974
FPC	190	347	301	205	537	506	1,043	222	330	331	263	552	594	1,146	441	382	823
コネクタ事業部門	75	128	118	92	202	210	412	90	139	154	115	228	268	497	201	193	394
その他	70	93	91	75	163	166	329	81	94	92	89	175	181	356	153	159	312
エレクトロニクス事業部門	335	567	509	373	902	882	1,783	393	562	577	467	955	1,044	1,999	794	735	1,529
自動車事業部門	406	367	375	345	773	720	1,493	163	337	374	346	500	720	1,219	639	685	1,324
電子電装・コネクタ事業部門	740	935	884	717	1,675	1,601	3,276	556	899	951	813	1,454	1,764	3,218	1,434	1,420	2,853
不動産事業部門	28	28	28	28	57	56	113	27	27	28	27	54	55	109	54	54	108
その他	14	15	15	12	29	27	56	12	14	13	14	25	26	52	29	34	63
合計	1,624	1,811	1,746	1,542	3,435	3,288	6,723	1,299	1,706	1,775	1,658	3,005	3,432	6,437	2,990	3,010	6,000

事業セグメント別 営業利益 推移

エネルギー・情報通信事業部門	19	25	22	△ 21	44	1	46	35	47	39	60	83	98	181	59	74	132
エレクトロニクス事業部門	△ 28	28	9	△ 28	△ 0	△ 19	△ 20	△ 13	31	27	3	18	31	49	△ 1	17	16
自動車事業部門	△ 3	△ 10	△ 15	△ 14	△ 12	△ 29	△ 41	△ 28	△ 9	5	△ 5	△ 37	△ 0	△ 37	△ 14	13	△ 1
電子電装・コネクタ事業部門	△ 31	18	△ 7	△ 42	△ 13	△ 48	△ 61	△ 41	22	32	△ 2	△ 19	30	12	△ 15	30	15
不動産事業部門	15	13	13	13	28	26	54	13	13	13	13	26	26	52	24	22	46
その他	△ 0	△ 1	△ 0	△ 3	△ 2	△ 3	△ 5	△ 1	0	0	0	△ 1	0	△ 0	1	4	5
合計	3	55	29	△ 53	58	△ 24	33	6	83	84	71	89	155	244	70	130	200

※2020年度より自動車事業部門からエレクトロニクス事業部門へと一部事業の移管を行ったため、2019年度の実績値を組替再表示しております。  
 ※2021年度より管理体制を見直したため、セグメント名称を変更しておりますが、2019年度、2020年度の数値に変更はありません。

株式会社フジクラ